

福島原発事故下で、避難できなかつた人たち
～探査報道『双葉病院 置き去り事件』から～

Tokyo Investigative Newsroom Tansa
リポーター 中川七海

2024年9月16日 講演資料





飛田晋秀

双葉病院 置き去り事件

2011年3月11日、原発から5キロの病院に多くの寝たきり患者が取り残された。原発が水素爆発してもなお、救助の手は及ばない。すべての救出が完了したのは16日。45人が命を落とした。「戦時下」に匹敵する非常事態の中で何があったのか。検察の調書を調べていくと、自衛隊の致命的なミスをはじめ数々の新事実が明らかになる。

双葉病院 置き去り事件

2011年3月11日、原発から5キロの病院に多くの寝たきり患者が取り残された。原発が水素爆発してもなお、救助の手は及ばない。すべての救出が完了したのは16日。45人が命を落とした。「戦時下」に匹敵する非常事態の中で何があったのか。検察の調書を調べていくと、自衛隊の致命的なミスをはじめ数々の新事実が明らかになる。



「双葉病院のことは調べるな」 (14)

2021年03月26日17時00分 中川七海



26日後に会津の病院で(13)

2021年03月25日16時00分 中川七海



6日間で25人死亡(12)

2021年03月23日16時00分 中川七海

福島第一原発

4.5km
中間貯蔵施設

双葉病院
ドーナビル双葉

福島県立大野病院
診療部門内科外来
大野

双葉病院
閉鎖

中間貯蔵工事
情報センター

東京電力(株) 福島第一
原子力発電所総務...

東京電力
ホールディングス(株)

相双スマート
エコカンパニー

殉職者慰霊碑

熊川海水浴場

初孫神社

双葉病院とドーヴィル双葉

双葉病院

- 内科と精神科。県外からも多くの患者
- 338人が入院
- 常に点滴が必要な患者が20～30人

ドーヴィル双葉（介護施設）

- 要介護1～5までの高齢者が入所
- 98人が入所
- 認知症や寝たきりの人も多くいた



2021年7月15日撮影



©飛田晋秀

2012年3月18日撮影



©飛田晋秀



2021年7月15日撮影

2011年3月11日の東京電力福島第一原発の事故で、福島県大熊町にある「双葉病院」の入院患者と、近くの介護施設「ドーヴィル双葉」の入所者が少なくとも計45人亡くなった。全ての患者と入所者の避難が終わったのは、5日後の3月16日だった。

この事件で、東電の旧経営陣3人は業務上過失致死傷罪に問われている。そもそも東電が原発事故さえ起こさなければ、患者たちが置き去りにされるようなことはなかったからだ。

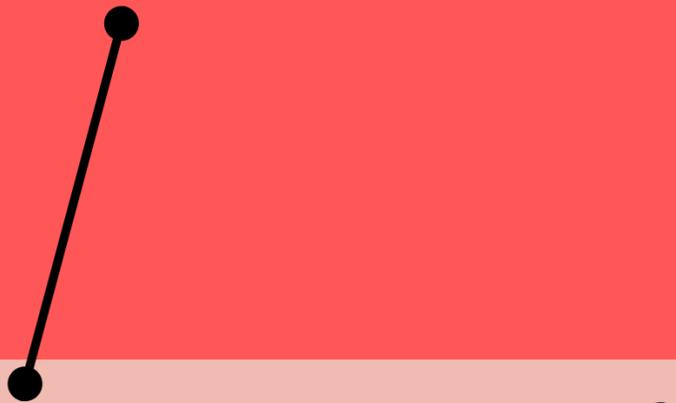
しかし原発事故の状況下でも、45人は救えたのではないか。何か手ぬかりがあったはずだ。そのことが十分に検証されていない。責任があいまいだ。遺族は、原発事故から10年経つ今も事件を調べ続けている。

Tansaは、検察の調書を調べた。双葉病院とドーヴィル双葉で救助にあたった関係者から検察が聴取した記録だ。この調書は、東電への株主代表訴訟を審理している東京地裁商事部が、同刑事部から取り寄せた証拠である。

そこでは自衛官や警察官、病院関係者が、当時の状況をなまなましく供述していた。浮かび上がってきたのは、自衛隊幹部の致命的なミスなど数々の新事実だった。

3月11日 14:46

地震発生



14日11:01

3号機 水素爆発



15日6:14

4号機 水素爆発



12日15:36

1号機 水素爆発

15日6:10

2号機 格納容器損傷、放射性物質大量放出



第1陣
国の避難バス

第2陣
自衛隊の車両

第3陣
自衛隊

第4陣
自衛隊

第5陣
自衛隊

209人救出

132人救出

48人救出

7人救出

35人救出

12日

14:00頃

14日

10:30頃

15日

11:00頃

15日

12:15頃

16日

0:35頃

第1陣
国の避難バス

第2陣
自衛隊の車両

第3陣
自衛隊

第4陣
自衛隊

第5陣
自衛隊

3月11日
14:46

地震発生

12日
14:00頃

12日15:36
1号機 水素爆発

14日
10:30頃

14日11:01
3号機 水素爆発

15日6:10
2号機 格納容器損傷、放射性物質大量放出

15日
11:00頃

15日6:14
4号機 水素爆発

15日
12:15頃

16日
0:35頃

「逃げた」強者、置き去りにされた弱者



第1陣
国の避難バス

第2陣
自衛隊の車両

第3陣
自衛隊

第4陣
自衛隊

第5陣
自衛隊

3月11日
14:46

地震発生

12日
14:00頃

12日15:36
1号機 水素爆発

14日
10:30頃

14日11:01
3号機 水素爆発

15日
11:00頃

15日6:14
4号機 水素爆発

15日
12:15頃

15日6:10
2号機 格納容器損傷、放射性物質大量放出

16日
0:35頃

14日夜

▼警察：双葉病院院長らを連れて原発20キロ圏外へ退避

▼自衛隊：燃料や資材を置いたまま町から撤退

▼オフサイトセンター：撤退準備を開始

内堀副知事ら先遣隊は先に県庁へ

オフサイトセンター



3/13 7:40 現在

0:40
-20km
-10km

(県警)
機動隊17
特機隊4

	台数	人員	時間
① 双葉厚生病院	17台	63名	16:34 終了
② 双葉病院 93名 (32名)	21~3 大~1	⑧ 8 ⑨ 2 (5名)	10:50 終了
③ 今村病院 54名 (25名)	⑩ 1	5/10 終了	
④ 上ノ川双葉 98名	21~3 大~3	⑩ 10 ⑨ 2	終了 (17:20)
X オンノ川双葉 280名			
⑤ 味川川 0名 (終)			
X 浪江西病院 25名			
X 浪江東病院 81名			



2011年3月14日18時頃

オフサイトセンターにて東電社員が現地対策本部長に見せたメモ内容

「

18時22分、燃料露出

20時22分、炉心溶融

22時22分、格納容器損傷

」



池田元久 元経済産業省副大臣
2011年3月14日のオフサイトセンターでの全体会議にて

我々だけ現場を離れるわけにはいかない。
難破船の船長と同じで、我々はやはり、
住民が全部出てもらってから



高田義宏 福島県職員 現地対策本部住民安全班長
2012年2月27日の政府事故調ヒアリング

相当数が逃げ出したように記憶している

15日朝

- ▼警察：双葉病院院長らを連れて原発20キロ圏外へ退避
- ▼自衛隊：燃料や資材を置いたまま町から撤退
高い放射線量のため救援部隊が救助途中で引き揚げる
- ▼オフサイトセンター：全員撤退
- ▼第一原発：9割の職員が第二原発へ

自衛隊の決定的なミス



第1陣
国の避難バス

209人救出

12日

14:00頃

第2陣
自衛隊の車両

132人救出

14日

10:30頃

第3陣
自衛隊

48人救出

15日

11:00頃

第4陣
自衛隊

7人救出

15日

12:15頃

第5陣
自衛隊

35人救出

16日

0:35頃

6日間で25人死亡

- ①救助を待っている間の双葉病院で4人
- ②2回目の救助の後、いわき市へ向かうバスの中で6人
- ③2回目の救助の後、いわき光洋高校の体育館で8人
- ④3回目と4回目の救助の後、伊達市へ向かうバスの中で2人
- ⑤5回目の救助の後、二本松市と福島市へ向かうバスの中で5人

(3カ月以内に45人死亡)



双葉病院に務めていた医師
2018年9月19日の裁判にて

——証人が双葉病院を出発したとき（12日午後2時）には、
すぐに亡くなるような、命の危険がすぐにあるような方は
いらっしやらないと、こういうお話でしたよね

医師「はい」

患者の避難に責任があった人は・・・





渡辺利綱 大熊町元町長
2021年3月2日@大熊町にて

確かにきちっと確認しなかったっていうのは落ち度だな。
でも(町民)1万人を現実的にね、朝から(避難指示の)連絡が来て、
じゃあできる限り避難しましょうってのは、
目が届かないことがあるんですよ。
そんなにきちっとできるんだったら誰も苦労しないでしょ



池田元久 元経済産業省副大臣
2021年2月19日、東京都内にて

双葉病院については、よく研究する必要があるね。

僕は直接聞いてなかったけど、長距離の避難だったんでしょ、バスが酷かったんでしょ、何だったんだらうね。

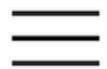
バスを動かす人とか、現場に普通の感覚の人がいれば長距離搬送しなくてもよかったんじゃない？



池田元久 元経済産業省副大臣
2021年2月19日、東京都内にて

双葉病院は
あまりアピールしなかったんじゃない？

続報へ



Tokyo
Investigative
Newsroom
Tansa

✉ メルマガ登録



サポーターになる



ニュース

【スクープ】国葬協議、官邸と内閣法制局の「謎の2日間」が浮上

岸田文雄首相が国葬の実施を表明したのは、安倍晋三元首相が殺害されてから6日後の2022年7月14日である。記者会見で岸田首相は「内閣法制局としっかり調整した」と語り、「法の番人」のお墨付きを強調した。一体どんな調整をしたのか。Tansaが情報公開請求すると…